

大学とはどのようなものであるべきなのか？  
——激動する現場から問い直す

# 大学とはなにか

2014年**11月22日(土)** 14:00~18:00  
京都大学人文科学研究所本館 共通1講義室

講演:

**橋本伸也** (関西学院大学文学部)

**山室信一** (京大人文研)

コメンテーター:

**森本淳生** (一橋大学大学院言語社会研究科)

**王寺賢太** (京大人文研)

**田中祐理子** (京大人文研)

司会:

**小関 隆** (京大人文研)

主 催 | 京都大学人文科学研究所  
お問合せ | 京都大学人文科学研究所 総務掛  
TEL: 075-753-6902  
<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp>  
メールアドレス:  
[z-academy@zinbun.kyoto-u.ac.jp](mailto:z-academy@zinbun.kyoto-u.ac.jp)

予約不要  
聴講無料



# 大学とはなにか

大学とは何なのか、そして、何でありうるのか。現在、大きく変化する世界の中で、大学と学問の役割が厳しく問い直されています。揺れ動き続ける社会のかたちと知のシステムを前に、いま大学は何をするために、誰のために存在していると言えるのか。近代世界が形成される過程において大学はいかなる役割を果たしてきたのか、そこにいまこそ再検証されるべき歴史的課題が見いだされはしないか。本シンポジウムでは、近現代史における大学と学問のあり方を問うてきた研究者が、「では今日われわれ自身は一体どのような場所として大学をつくりあげていくべきなのか?」という問いへの答えを求めて、議論を試みます。

### ■ 講演者



橋本伸也 (はしもと・のぶや)

1959年生。関西学院大学文学部教授(ロシア・バルト近現代史・比較教育社会史)。  
 〈主な著作〉  
 『帝国・身分・学校—帝制期ロシアにおける教育の社会文化史』(名古屋大学出版会、2010年)  
 R.D.アンダーソン著『近代ヨーロッパ大学史—啓蒙期から1914年まで』(共監訳、昭和堂、2012年)  
 『ロシア帝国の民族知識人—大学・学知・ネットワーク』(編著、昭和堂、2014年)



山室信一 (やまむろ・しんいち)

1951年生。京都大学人文科学研究所所長(法政思想連鎖史)。  
 〈主な著作〉  
 『思想課題としてのアジア—基軸・連鎖・投企』(岩波書店、2001年)  
 『複合戦争と総力戦の断層—日本にとっての第一次世界大戦』(人文書院、2011年)  
 『現代の起点—第一次世界大戦』(共編、全4巻、岩波書店、2014年)

### ■ コメンテーター

森本淳生 (もりもと・あつお)

1970年生。一橋大学大学院言語社会研究科准教授(フランス近代文学)。  
 〈主な著作〉*Paul Valéry. La Genèse du sujet et l'imaginaire. De la psychologie à la poétique* (Minard Lettres Modernes, 2009)

王寺賢太 (おうじ・けんた)

1970年生。京都大学人文科学研究所准教授(フランス近世・近代社会思想史)。  
 〈主な著作〉「No hay caminos, hay que caminar—日本の「第三の道」への疑問」、『情況別冊』「思想・理論篇」第1号(情況出版、2012年)

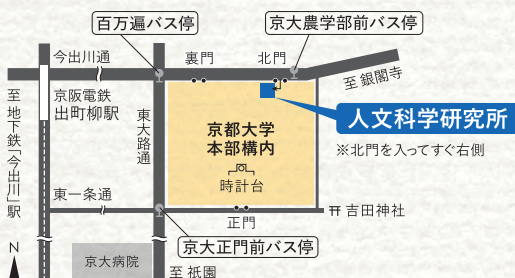
田中祐理子 (たなか・ゆりこ)

1973年生。京都大学人文科学研究所助教(近代西洋医学思想史)。  
 〈主な著作〉『科学と表象—「病原菌」の歴史』(名古屋大学出版会、2013年)

### ■ 司会

小関 隆 (こせき・たかし)

1960年生。京都大学人文科学研究所准教授(イギリス・アイルランド近現代史)。  
 〈主な著作〉『プリムローズ・リーグの時代:世紀転換期イギリスの保守主義』(岩波書店、2006年)



●市バス 17、203系統「京大農学部前」下車徒歩1分 / 31、201、206系統「百万遍」下車東へ徒歩5分  
 ●京阪電車「出町柳」下車東へ徒歩15分 京都大学 北門入ってすぐ右  
 \* 駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい。

